

授業のヒント

前回に引き続き、音声テープの利用方法を紹介します。今回は初・中級レベルのクラスを対象にした使い方です。

テーマ テープ教材の使い方(その2)

目的・教えること
<ul style="list-style-type: none"> ・聞く力を高める ・意味や内容の聞き取り方 ・会話練習や読む練習
学習者のタイプ
初級後半から中級
クラスの人数
何人でも
準備するもの
音声テープの教材 テープレコーダー

全体の内容を理解することが大切

初級後半になって教室でテープを使う場合、内容を聞き取る練習が中心になってきます。内容を聞き取る時には、学生にとってわからない言葉や表現がいくつかあっても、そこで止まってしまうと、全体を理解することにさせることが大切です。一つずつの言葉を全て理解しようと思うと、わからない言葉が気になってしまい、逆に全体で何を言っているのかわからなくなってしまうことがあります。

どこが重要な部分かわかると聞き取りやすい

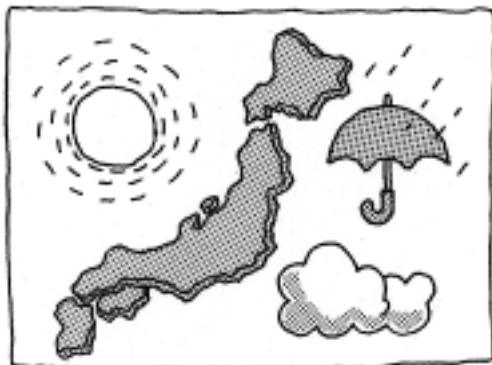
話題の中で特に注意して聞く必要がある情報は何か、前もってわかっているならば、聞くときにはその部分に気を付けて聞けばよく、内容が聞き取りやすくなります。

例えば、天気予報のテープを聞く場合、重要なのは場所の名前とその場所が晴れるのか雨が降るのかという点です。

他の活動に結びつける

音声テープを利用して聴解練習で終わるだけでなく、理解した内容を他の活動に結びつけると効果的な授業ができます。ここでは、その例を紹介します。

- 活動例 1 聞いた情報を利用して会話する(「聞く練習」「話す練習」)
- ここではまず、テレビ番組の天気についての会話のテープ教材を例にして、聞いた情報を他の人に伝える活動を紹介します。



アナウンサー：おはようございます。3月23日7時のニュースです。東京は16度、少し雨が降っていますが、暖かい朝です。各地のお天気を聞いてみましょう。まずは北海道、札幌から。

アナウンサー：あ、もしもし。札幌の中山さん。そちらはいかがですか。

中山：札幌は今朝は2度。晴れていますが、まだまだ寒いんです。ここしばらく……。

アナウンサー：もしもし、大阪ですか。ああ、西田さん。そちらはいかがですか。

西田：ああ、大阪は今朝はどんより曇っています。温度は18度。まあまあ暖かいです。

アナウンサー：もしもし、鹿児島島の吉岡さん。おはようございます。そちらはいかがですか。

吉岡：あ、はい。今朝はたいへんよく晴れています。今、こちらの温度計で26度。かなり暑いんですね。

(『絵とタスクで学ぶ日本語』タスク8-2のテープより)

学生はこの会話を聞いて必要な情報をタスクシート1に書きます。(レベルによって学生の母語で書いてもいいです。)

タスクシート1

町	天気	気温	
札幌	はれ	2度	あつい・さむい
		度	あつい・さむい
		度	あつい・さむい



次に、学生をA、Bに分け、それぞれに次の役割カードを配ります。カードは学生の母語で書いてもいいです。

Aへのカード：

あなたはこれから仕事で札幌（大阪、鹿児島）へ行きます。かさ、コートなど、何を持っていったらいいか聞いてください。

（Aへのカードは、札幌・大阪・鹿児島のそれぞれを書いた3種類、用意する。）

Bへのカード：

札幌、大阪、鹿児島に行く人に、その場所の天気を教えてください。また、持っていったほうがいいものを教えてあげてください。
例：寒い コート、雨 かさ、暑い ぼうし...

A、Bでペア（二人組）になり、会話例1のように会話をします。

会話例1

A：Bさん、ちょっとすみません。私はこれから札幌へ行くんですが。
B：あ、札幌ですか。札幌は、今寒いですよ。2度です。そして晴れています。
A：かさを持って行ったほうがいいですか。
B：かさを持って行かなくてもいいでしょう。でも、コートを持って行ったほうがいいです。
A：どうもありがとうございます。
B：どういたしまして。

この活動の応用例として、人数の少ないクラスでは、クラス全員ではなくBになった学生だけにテープを聞かせて会話をさせることもできるでしょう。

●活動例2 聞いた内容と文を合わせる（「聞く練習」+「読む練習」）

テープを聞くときに、文を読む活動を同時に行わせることもできます。

『教科書を作ろう れんしゅう編』12-7「有名な所」の会話(1)(2)を使った例です。

【モデルテキスト会話(1)】

教師は授業の前にタスクシートを作ります。その時、会話(1)(2)の中でポイントになる情報が含まれている文を

選んで、答えを書く表を作ります。（タスクシート2）

授業では、テープを聞かせる前に、学生がタスクシートをよく読むように言います。

表が完成したら、もう一度テープを聞いて答えあわせをします。テープの内容が教科書などに書かれていたら、それを読んで答えあわせをすることもできます。

この例では会話のテープを使いましたが、ニュースや雑誌の記事など、書かれた文章でも、それを録音したテープがあれば同じような活動ができます。タスクシートも表をうめるタイプだけではなく、物語を聞いて、文の順番をならべかえるタイプなどもできます。

タスクシート2

- a ~ e を読んでください。
- テープを聞いて例のように下の表に書いてください。
- (1)(2)はどこか考えてください。

- 5時間ぐらいいあるきました。
- こんでいました。
- 日本でいちばん高い山です。
- ミッキーマウスといっしょにしゃしんをとることがができます。
- 上にはゆきがありました。

		どこですか？
(1)	(例) a .	
(2)		

参考文献

- 村野良子・谷道まや（1989）『絵とタスクで学ぶにほんご』 凡人社
- Underwood, M .(1989) Teaching Listening Longman
- 国際交流基金日本語国際センター（1999）『教科書を作ろう 練習編』